

陳 情 文 書 表

(保健福祉局)

受 理 番 号	5 5 1	受 理 年 月 日	令 和 3 年 7 月 8 日
件 名	感染拡大を防止するためのPCR検査の拡充等		
要 旨	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大（以下「コロナ禍」という。）はいまだ収束せず、学生はこれまでにない異常な生活を1年以上にわたり強いられている。今年度も、4月の一時期に対面中心の学生生活が見られたものの、4月25日に京都府を含む4都府県に緊急事態宣言が発令されて以降は、再び制約の多い学生生活となっている。</p> <p style="text-align: right;">が4月12日から6月12日にかけて行った2021年度春学期アンケートには、教室に人が集まることに伴う感染リスクの増大への懸念を示す声も届いている。基礎疾患を持っている学生からは、基礎疾患があるので、感染すると重症化するのではないかという不安があるという声も届いている。また、教室に人が集まっている様子を見て感染が不安になり、安心して対面授業を受けることができないという人はたくさんいる。</p> <p>については、コロナ禍の収束が不透明な中、京都で学ぶ学生の命と健康を守るために、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染拡大を防止するために、無症状の方も含めたPCR検査の抜本的拡充を図ること。大学において実施する感染拡大防止策及び学生、教職員のPCR検査実施に対する財政支援を国に求めること。 2 大学が責任を持って感染防止対策を行えるよう、京都市としても必要な支援を行うこと。特に、学生が定期的にPCR検査を受けられる体制を作り、安心して学生生活を送ることができるようにすること。 		
陳 情 者			
回付委員会	教育福祉委員会		